

具体的な検討事項（案）

1. 公認心理師のカリキュラムに関する基本的な考え方
 - 1-1 公認心理師に求められる役割
 - 1-2 公認心理師に必要とされる知識及び技術
2. 公認心理師のカリキュラム
 - 2-1 公認心理師となるために必要な科目
 - ・ 大学及び大学院における必要な科目（法第7条第1号及び第2号）
 - ・ 経過措置における施行前及び施行後の大学及び大学院における必要な科目（法附則第2条第1項第1号、第2号、第3号及び第4号）
 - 2-2 教育内容の例（実習・演習科目を除く）
 - 2-3 実習・演習の内容
3. 大学卒業後の実務経験
 - 3-1 実務経験の範囲（施設及び期間）
4. 国家試験
 - 4-1 試験科目
 - 4-2 国家試験に係る基本的な事項について
 - 4-3 現任者に対して免除する試験科目
5. 現任者講習会科目と時間数
 - 5-1 現任者の範囲について
 - 5-2 講習会の内容と時間数
6. 公認心理師試験受験資格
 - 6-1 その他準ずるもの